

## 「東城小・中学校の八月踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

奄美市立東城小・中学校

### 2 学年・人数

小学1年生から中学3年生（計27人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和5年7月～9月総合的な学習の時間（本校体育館）

#### (2) 発表の日時・場所

令和5年9月17日（日）奄美市立東城小中学校運動会（本校運動場）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

#### (1) 名称

八月踊り（はちがつおどり）

#### (2) 由来

旧暦8月に稲の収穫を祝って踊られる踊り

#### (3) 構成等

踊り手自ら演奏する太鼓と集団的な男女の掛け合いの歌を伴奏に、輪踊りする。

### 5 保存会や地域との連携の具体

学校の総合的な学習の時間に小中学校合同で行い、校区内の川内集落、見里集落の保存会を隔年で講師に迎え練習している。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

小中合同で、地域の方を招いて毎年練習し、運動会で演技することで継続した取組としている。

### 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【地域の方を招いての練習】



【運動会での発表】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【中学3年生生徒】

- ・ 八月踊りの練習を地域の方と一緒にすることで、地域の方と仲良くなり、地域の一員だということを感じる。
- ・ 八月踊りを練習していくことで、自分が伝統を継承している一員であることを自覚できる。

### 【教職員】

- ・ 地域の方に協力いただくことで、八月踊りを子供たちと地域と一緒に練習し、交流が深められている。
- ・ 伝統の継承という面からもよい機会となっている。